

# 一般質問

将来を意識して  
市政に政策提案



4年間の一般質問の流れと  
して、近年の気象災害の多発  
を考えて「気候変動」、学校  
などの施設の維持更新の課題  
が大きいことから「市民参画」と  
「教育」に着目し、財政面の  
課題と合わせて質問を構成  
しています。

## 喫緊の課題として

「気候変動」は異常気象と  
いう言葉でとらえがちですが  
、もっと大きな変化の可能性  
があり、それにどう適応して  
いくか、温暖化が進めば海面  
上昇もあることを考えると、  
20年以上先も考えに入れなが  
ら、柔軟に取り組むことが重  
要になるでしょう。緩和策と  
しての温室効果ガス削減だけ  
でなく、都市のあり方も含め  
て、政策全体で適応策を考え  
るべきです。

## どう残していくか

「公共施設」は関連計画が  
動き出すなか、どうより良い  
形に検討できるかが問われて  
います。計画に沿う形で、白  
子中と白鳥中は長寿命化改修  
、千代崎中は校舎の傷みが進  
んでいるために改築という動  
きになっています。

今後、老朽化する施設は山  
積みで、人口減少と財政面の  
不透明さを考え、都市のあり  
方や公民連携などの知恵を問  
いました。

福祉関係などの政策は、地域  
福祉委員会で、予算や決算審  
査の際に取り上げるなど、多  
面的に取り組んできました。

## 課題は山積みです

その他、新型コロナ関係や  
デジタル化の推進なども質問  
し提案していますし、日々い  
る様々な政策課題について、  
調査などを通じた気づきから  
、担当課にヒアリングを行っ  
たり、場合によっては研修な  
どの情報を提供したり、意見  
交換を重ねています。また、  
福祉関係などの政策は、地域  
福祉委員会で、予算や決算審  
査の際に取り上げるなど、多  
面的に取り組んできました。

本会議での議案質疑と討論  
についても、この3年半しつ  
かり取り組んでいます。質問  
の回数が成果とする考えはあ  
りませんが、できる限り議案  
を読み込んで、自分が疑問に  
思った点や論点と考える点を  
発言し、議事録に残すことが  
議員の役目と考えています。  
それは自分が議員を目指した  
時の原点でもあります。



市では各種長期計画策定の  
際、市民意見を聞く機会とし  
てパブリックコメント（パブ  
コメ）を実施しています。  
各計画は、市議会全員協議  
会で説明と協議が行われ、そ  
の後にパブリックコメントが  
行われることになります。私  
は計画案を読み込み、できる  
だけパブリックコメントで意  
見を出しています。私は  
市民視点で取り組むこと、  
論点と考えたものを文字とし  
て書き出し、議事録と同じよ  
うに残すためです。

## パブコメ提出

そして今年、今後の鈴鹿市  
の動きを考えて、「重層的支  
援体制の構築」が最重要と考  
えたこともあり、地域福祉委  
員長に就任できるよう動き、  
ここまで議会活動において  
、重層的支援体制の構築に力  
を入れています。来年は、次  
期総合計画と地域福祉計画の  
改定もあり、今年の動きが重  
要になってしまいます。

地域福祉「族」議員という  
ような今の活動について、議  
会審議などで意義を実感して  
います。次年度は重要な年な  
ので、これまでの積み重ねを  
活かしたいです。

行政は3年くらいで、議員  
も4年で入れ替わったりする  
ので、こういうことが起こる  
のでしょうか。ただその分、他  
市町より遅れるのもどうかし  
いですね。

つれづれに

# 議会定数削減へ！

7年前の定数削減に関する  
請願討論から時間は経ちまし  
たが、訴えていたことが形に  
なったことは感慨深い一方で  
、定数が減るということの意  
味を深く痛感します。

2019年

- 6月：1.市財政の今後 2.投票率の向上
- 9月：1.探求・地域課題解決型学習の支援
- 12月：1.公共施設・インフラの維持更新  
2.学校で子どもの権利学習

2020年

- 2月：1.気候変動適応計画策定
- 9月：1.デジタル化の推進、  
2.気候変動を踏まえた水災害対策
- 12月：1.労働者協同組合法 2.文化財について  
3.市西部地域の位置づけ

2021年

- 2月：1.気候変動適応対策 2.市民参画充実
- 6月：1.公共施設政策（三中学校改修込み）
- 9月：1.都市マスタートップラン改定  
2.若年層へのワクチン接種
- 12月：1.主権者教育と若者の参画、  
2.三中学校改修の現状

2022年

- 2月：代表質問（会派代表として市政方針に質問）  
1.「市民力、行政力の向上」に関連して、  
2.子どもと福祉 3.都市の在り方
- 6月：1.いじめへの取組、  
2.物価高騰に対する学校給食の対応
- 9月：1.災害時の情報伝達 2.DX推進体制

過去の質疑項目をご覧いただけます  
QRコード

過去の質疑項目をご覧いただけます

討論も、これまでと同様に  
取り組んできました。ただ、  
ご意見をいたぐることも多く  
、4年目は地域福祉委員会委  
員長として、重層的支援体制  
の構築に取り組むため、そち  
らに力を配分していることか  
ら、討論を控えています。

また、パブリックコメントト  
リに対する市の返答もあ  
るのですが、確認する根拠にもな  
つたりします。

2021年から今年にかけ  
ては、地域公共交通計画、公  
共施設等総合管理計画、高齢  
者福祉計画、第8期介護保険  
事業計画など、重要な計画が  
策定されていて、それぞれに  
意見を出しています。コメント  
に対する市の返答もあ  
るのですが、確認する根拠にもな  
つたりします。

新聞でも報道がありました  
が、今年度設置された「議會  
の定数及び報酬検討特別委員  
会」の最終的な結論を要約す  
る、議論で行うものにするが  
、定数について、現状維持の  
会派もあつたが、過半数の会  
派が定数減でまとまりました。そ  
の数は2~6の幅はあるが、  
4人減らすということですとま  
った。となりました。

可決されると、来年予定の  
議会運営委員会でも、定数削  
減で話がまとまつたため、12  
月定例議会で定数に関する條  
例改正が議案にあがつてくる  
動きとなりました。

この結論を受けて行われた  
請願討論から時間は経ちまし  
たが、訴えていたことが形に  
なったことは感慨深い一方で  
、定数が減るということの意  
味を深く痛感します。

これを終わりにするのでは  
なく、財政の先行きが不透明  
な社会状況の中で、市政と議  
会の改革をさらに進めていく  
責任と覚悟が必要だと、思い  
を新たにしています。